

関西電力のロードマップが破綻したことを受けて 老朽原発3基の即時停止と、乾式貯蔵施設の設置計画中止を 関西電力に求めることについての要望書

滋賀県知事 三日月大造 様

日頃は県民の安全と、琵琶湖を守るためにご尽力いただき、ありがとうございます。また他県の災害被災地にも職員を派遣するなど、復旧にご尽力いただき、感謝しております。

さて、先月29日、日本原燃は青森県六ヶ所村の再処理工場の完成目標を2026年度中(2027年3月まで)に延期すると発表しました。当初の完成予定は1997年で、今回は27回目の延期です。新たな完成目標も実現できるか分かりません。これによって、関西電力の「使用済燃料対策ロードマップ」は破綻しました(2頁図参照)。

福井県は、ロードマップを根拠にして、40年超えの老朽原発3基の運転を容認し、原発敷地内の乾式貯蔵施設の申請を了解していました。ロードマップが破綻したため、老朽原発3基を直ちに停止し、乾式貯蔵施設の計画も白紙に戻すよう、滋賀県からも関西電力に求めていただきたく、要望します。

要 望 事 項

1. 高浜1・2号、美浜3号を即時停止するよう、関西電力に求めてください

関電は、2023年末までに県外の間接貯蔵候補地を確定できなければ、老朽原発3基の運転を止めると約束していました。しかし、候補地を示せないため、その代替案として昨年10月10日、「使用済燃料対策ロードマップ」を福井県に提示し、これに基づいて2026年度から六ヶ所再処理工場に使用済燃料を搬出するとしていました。福井県知事はこれを認め、老朽原発の停止を求めませんでした。

しかし、今回、ロードマップが破綻したため、昨年10月以前の状況に戻ります。約束違反の状態になったので、約束通りに高浜1・2号と美浜3号の老朽原発3基はすぐに停止すべきです。

9月9日から始まった福井県議会では、「老朽原発3基は即時停止すべき」との厳しい意見も出されています。

2. 乾式貯蔵施設の設置計画は白紙に戻すよう、関西電力に求めてください

乾式貯蔵施設も、ロードマップに「設置を検討」(※)と明記しているように、ロードマップを根拠にしています。そのため、乾式貯蔵計画も白紙に戻すべきです。

関電は高浜原発敷地内の第1期分について、7月12日には美浜原発と大飯原発での乾式貯蔵についても申請を出しました。

現在、規制委員会で審査が続いており、下記のように新たな危険性も浮かび上がっています。滋賀県が3月、関電に出した意見書にある懸念はさらに強まっています。

<国の審査等で新たに問題となっている点>

- ・狭い敷地のため、背面の山の斜面を削り取って、約 51 度もの急斜面の下に造るため、土砂崩れて格納設備が埋もれ、除熱ができなくなる危険があります。
- ・ここ数年、夏には連日 40℃近い猛暑が各地で記録更新されているにもかかわらず、貯蔵施設の外気温は 33℃に想定されており低すぎます。除熱は可能でしょうか。
- ・若狭沿岸は雪の多い地域ですが、積雪等により給気口が「閉塞しない設計」は成り立ちません。吸気口が雪で塞がれば、除熱は可能でしょうか。

(※)「使用済燃料の中間貯蔵施設へのより円滑な搬出、さらに搬出までの間、電源を使用せずに安全性の高い方式で保管できるよう、発電所からの将来の搬出に備えて発電所構内に乾式貯蔵施設の設置を検討」(関電「ロードマップ」より)

3. 関電のロードマップ破綻と上記問題について、県議会及び県民に説明するよう、関西電力に求めてください



昨年10月10日 関電ロードマップ

2024年9月19日

避難計画を案ずる関西連絡会

連絡先団体：グリーン・アクション/ 原発なしで暮らしたい丹波の会/ 原発なしで暮らしたい宮津の会/ 脱原発はりまアクション/ 原発防災を考える兵庫の会/ 美浜の会/ 避難計画を考える滋賀の会

この件の連絡先 避難計画を考える滋賀の会